



題字 井口 文章  
再刊 第269号  
印刷・発行  
錦城高等学校新聞委員会  
編集室 2018

みんなでつくる  
錦城高校新聞

一面：夏休み中に部活動、委員会が活躍  
待ちにきた錦城祭まであと二週間！  
二面：新聞委員会編集部、全国総文祭で長野へ  
小平市内の小学生と新聞づくり

# 夏全国大会の最後

## 新聞委員会、映画研究部、将棋部まい進

42日間の夏休み。猛暑の中様々な部活・委員会が一生懸命に活動し、好成績を残した。今回は全国大会に出場した新聞委員会、映画研究部、将棋部を紹介する。

### 新聞委員会

8月9日(木)から11日(土)に長野県で「文化部のインターハイ」とも呼ばれる全国高等学校総合文化祭が開催され、編集委員の2年生6人が新聞部門に出場した。また全国高校新聞年間紙面審査賞で、錦城高校新聞は2年ぶり、2度目となる優秀賞を受賞した。



優秀賞の賞状を受け取る新聞委員会委員長

大会では3日間にわたり、全国から集まった各都道府県の代表の新聞委員や新聞部員と48班に分かれてそれぞれ取材を行った。取材先は鉄道会社、新聞社、寺院、伝統文化など班によって様々だ。錦城の編集委員が実際に行った取材先については、本号の裏面で特集している。

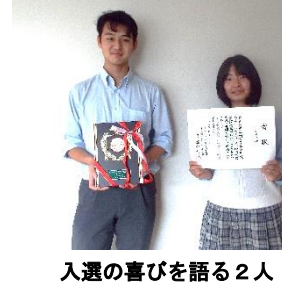


真剣な眼差しで次の一手を考える

取材後には交流新聞を制作し、ホテルへ帰った後にもスマートフォンなどで編集会議を続ける班もあり、活発な意見交換が行われた。3日間の交流期間を通して、他校の新聞作りの技術や様子を知ることができた貴重な機会となった。この経験を活かし、今後の錦城高校新聞をより良いものにしていく。

大会では相手によって戦法を工夫して戦うのが楽しかったという金さん。今後は個人戦でも成績を残したいと意気込む。稲井さんと池崎さんは後輩に「頑張れば出場出来る」ということが後輩に見せられたと思います。強く出て、来年も出場して欲しいです」と力強くメッセージを送った。

8月9日(木)から10日(金)に行われた全国高等学校総合文化祭将棋部門に出場し、全国ベスト14の成績を取った将棋部。「全国大会は初めてでしたが持っていた以上の力が出せました」と話すのは1年生で出場した



入選の喜びを語る2人

7月24日(火)から26日(木)にNHKホールで行われた第65回NHK杯全国高校放送コンテスト創作テレビドラマ部門で映画研究部は425作品中ベスト10で入選。大会を終えて監督兼脚本担当の山崎万桜さん(3C)は「目標としていた去年の成績を超えることが出来た良かったです。プロの映画監督の方にも褒められました」と語る。

今回の作品では、CGの主張が減り、違和感なく映像に溶け込めていたという。山崎さんは「後輩たちには全国大会を目指して頑張ってもらいたい」と期待を口にしました。

「校則改革 携帯を巡る先輩の努力」が作品中ベスト20で入選。代表の奥松太くん(3I)は「賞状を受け取る時とまで実感が湧きませんでした」と入選した時の驚きを語る。全国に向けて変更した点は「全部です。流れが不明瞭だったので最初と最後まで以外ほとんど変えました」と奥くん。またグラフィックや人物の動きに合わせてCGを合成し、インパクトを付ける工夫をしたそうです。

「今回の作品を通して仲間と新しい視点を与えてもらい、自分に足りないものを見つけていくことが出来ました」と奥くんは笑顔で大会を振り返る。最後に後輩に向けて「自分一人で抜けられない時は仲間を頼って、色々な人に伝わる作品を作ってください」とエールを送った。

## 一生ものの思い出をオーストラリアで

7月29日(日)～8月19日(日)にかけてオーストラリア語学研修が行われた。研修に参加した編集委員の指田光一(1F)と杉村千依(1I)が現地での生活を振り返る。



ゴールドコーストの海でサーフィンを楽しんだ

学年の生徒と交流した。学校では錦城生一人ひとりに現地に住むパディが付き、ランチタイムでパディとおしゃべりを楽しむ。ジブリ作品好きのパディや、日本食を交えた昼食パティで「寿司と味噌汁が美味しい」と話す現地生を見て、日本の文化が外国で評価されていることを嬉しく思った。また文化交流会では、様々な国出身の現地生が自国の歌や踊りをパフォーマンス



クイーンズランド大学でキャンパスツアー

学校のない休日はホストファミリーと過ごす。私のホームステイ先の家族は7人で、外国の文化が好きで家族だ。ホストファミリーとダムやコンサート、ショッピングなど色々な所に出かけた。8月4日(土)は、ファミリーがキャンパスに連れていってくれた。そこで野生のボッサムやカンガルー、南十字星などを見て、オーストラリアの自然を大いに感じる事が出来た。8月15日(水)にはブリズベン最大のお祭りである

「English」に行き、大きなハンパカーやB&B名物のストロベリーソフトを堪能。私は22日間のオーストラリア生活で、英語をもっと好きになった。この経験は将来に必ず生きてくると思う。

錦城祭では語学研修へ行った生徒のレポート展示を行う。オーストラリアと日本の文化の相違を知る良い機会となるため、ぜひ足を運んでほしい。

## 迫る錦城祭へ 夏休みも準備進む

「百花繚乱」というテーマに掲げる今年の錦城祭。夏休み中に準備を進めた実行委員会に取材した。



美術部員が心を込めて描く

夏休みに入ってから行われた門飾作り。門飾係が木材を切り、絵はポランテアで美術部員が描くというように分担して効率よく作業を進めていた。

美術部部長の野崎晴菜さん(2B)は「門飾委員が早めめに木を切ってくれたので助かりました」と話す。今年のテーマ「百花繚乱」に合わせた花びらの上に描いた錦城祭の文字とアピールしてくれました。

「なせば成る なさねば成らぬ何事も 成らぬは人のなさぬなりけり」夏休みには山形へ行き、石碑の言葉を目にした▼「どんなことでも強い意志を持ってやれば必ず成就する」。第9代米沢藩主であった上杉鷹山の名言だ。これは戦国武将の武田信玄の言葉を模範にしたものともいわれている▼第35代アメリカ合衆国大統領ジョン・F・ケネディは、「日本が一番尊敬する人物」を聞かれたときにすぐ鷹山の名を挙げたという。鷹山は養子として米沢藩に入ったが、その頃には借金で20万両(現代で約150億から200億)もあった。彼は藩を立て直すために改革を実行する▼江戸での生活費を大幅に減額。自らも日常の食事は一汁一菜、普段着は木綿とし、田畑を耕すという徹底だった。結果的に彼の死の翌年、借金は完済される▼改革初期には根回し不足で失敗したり、反対派による騒動の発生を許してしまうこともあった。しかし、飢饉救済の書物の刊行、うなぎの垣根・桑・漆・青芋の奨励などの飢饉対策・経済再建を行い、他にも藩校を立て身分を問わず学問を学ばせた▼最後まで彼は諦めず、改革を成功させた。彼の人生はまさに「なせば成る」を体現している。彼は米沢藩中興の祖といわれ、山形県米沢市にある松岬神社に祭神として祀られている▼昨年行われた経営者3500名を対象とした座右の銘アンケートでは、「なせば成る」が1位を獲得(教えてくささい! 座右の銘)キャンペーン2017)三井生命HPより)。自治体首長へのアンケートでも、上杉鷹山は理想のリーダーとしても最も多く挙げられた(読売新聞2017.3.6)。彼は今でも政治家、経営者として尊敬されている。今日から新学期。行事や進路に関するさまざまなことがある。上手い、いかないことも多いだろうが、「なせば成る」と胸に刻み、まずは課題テストに錦城祭、全力で取り組みたい。

錦城祭パンフレット担当の師岡志歩さん(2F)に話を聞くと、8月中旬現在、パンフレットはまだ完成していないと話す。アンケートの内容を作り始めたのは宿泊研修が終わった後、1年生が加わった後だそう。大変だったのは、毎年実施しているアンケートの集計

で、今年はパーセントも出したことだという。「去年は直前で大きなミスをしてしまいました。その反省を生かし、今は細かくチェックをしながらミスが無いように進めています」と語る。錦城生は校内を把握しているのに、パンフレットは要らないと思うかもしれないが、ぜひスタンラリーやクイズに参加してほしいと師岡さん。

「パンフレットは錦城のことが分かりやすくまとまっています。錦城生も来場者も錦城をもっと知ってもらえるものになると思います」と笑顔で締めくくった。

## ゴミ分別改善の兆し



とあるクラスのゴミ箱。これからも正確な分別を心がけよう

前号では、夏休み直前の錦城生のゴミ分別を調査した。夏休み中のゴミ分別は改善しているのだろうか。8月28日(火)に新聞委員会編集委員は、各学年無作為に3クラスずつ回る前回と同じ方法でゴミ箱を調査した。夏休み中ということもあり、ゴミの量も少なかったが、前回に比べて分別がよくできているようだった。ゴミ置き場に行くと燃えるゴミ、燃えないゴミがきちんと正しい場所に置かれるようになっていた。(加)

「なせば成る なさねば成らぬ何事も 成らぬは人のなさぬなりけり」夏休みには山形へ行き、石碑の言葉を目にした▼「どんなことでも強い意志を持ってやれば必ず成就する」。第9代米沢藩主であった上杉鷹山の名言だ。これは戦国武将の武田信玄の言葉を模範にしたものともいわれている▼第35代アメリカ合衆国大統領ジョン・F・ケネディは、「日本が一番尊敬する人物」を聞かれたときにすぐ鷹山の名を挙げたという。鷹山は養子として米沢藩に入ったが、その頃には借金で20万両(現代で約150億から200億)もあった。彼は藩を立て直すために改革を実行する▼江戸での生活費を大幅に減額。自らも日常の食事は一汁一菜、普段着は木綿とし、田畑を耕すという徹底だった。結果的に彼の死の翌年、借金は完済される▼改革初期には根回し不足で失敗したり、反対派による騒動の発生を許してしまうこともあった。しかし、飢饉救済の書物の刊行、うなぎの垣根・桑・漆・青芋の奨励などの飢饉対策・経済再建を行い、他にも藩校を立て身分を問わず学問を学ばせた▼最後まで彼は諦めず、改革を成功させた。彼の人生はまさに「なせば成る」を体現している。彼は米沢藩中興の祖といわれ、山形県米沢市にある松岬神社に祭神として祀られている▼昨年行われた経営者3500名を対象とした座右の銘アンケートでは、「なせば成る」が1位を獲得(教えてくささい! 座右の銘)キャンペーン2017)三井生命HPより)。自治体首長へのアンケートでも、上杉鷹山は理想のリーダーとしても最も多く挙げられた(読売新聞2017.3.6)。彼は今でも政治家、経営者として尊敬されている。今日から新学期。行事や進路に関するさまざまなことがある。上手い、いかないことも多いだろうが、「なせば成る」と胸に刻み、まずは課題テストに錦城祭、全力で取り組みたい。

で、今年はパーセントも出したことだという。「去年は直前で大きなミスをしてしまいました。その反省を生かし、今は細かくチェックをしながらミスが無いように進めています」と語る。錦城生は校内を把握しているのに、パンフレットは要らないと思うかもしれないが、ぜひスタンラリーやクイズに参加してほしいと師岡さん。

「パンフレットは錦城のことが分かりやすくまとまっています。錦城生も来場者も錦城をもっと知ってもらえるものになると思います」と笑顔で締めくくった。



# 全国の高校生記者と巡る長野の魅力

長野と言えば、信州そば、おやきなどの郷土料理や大河ドラマ『真田丸』で描かれた真田一族の本拠地があることで有名だ。今号では、編集委員が交流取材で訪れた5つの場所を紹介し、「信州長野」の魅力を伝えていく。(2年生共同取材)

## ①飯山コース

長野県の最北に位置する飯山市では気候を生かした伝統産業が盛んで「飯山仏壇」と「内山紙」が有名だ。JR飯山線北飯山駅周辺にある仏壇通りでは、飯山の伝統工芸品である飯山仏壇を取り扱っている店が立ち並び、飯山仏壇を取り扱っている岸田眞紀さんは、仏壇を買っていく人は年々減少傾向にあると話す。「仏壇には多くの職人が関わっています。この文化を終わらせてはならない」と力強く語った。



仏壇店が立ち並ぶ仏壇通りの様子

## ②小布施コース

小布施町のオープンガーデンは2000年に始まり、当時38軒だった店舗数は現在130軒にまで拡大した。オープンガーデンとは個人の庭を一定期間、一般の人に公開すること。訪れた人との交流などを楽しみ、地域の活性化にもつながる。そのうちの1つ、雑貨屋「樹木」の庭には300〜400種類の商品があり、どれも職人が作った一点ものだ。オープンガーデンは開店当初から始めていて、今年で

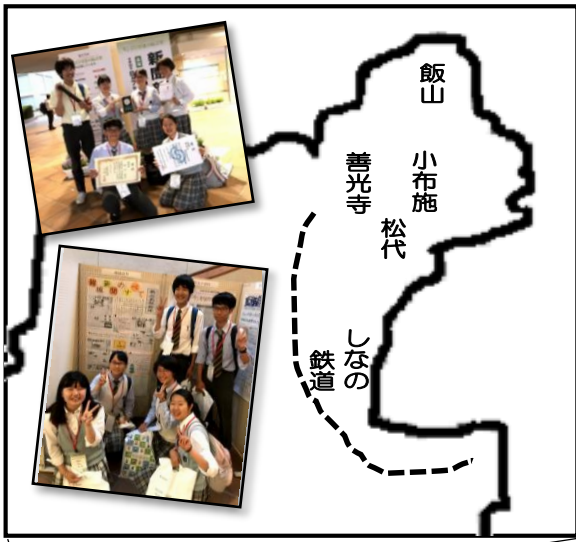


職人手作りの1点ものの雑貨

18年目になる。「花を育てることが好きで、近所の人にも勧められ始めようと思いましたが」と店長は話す。その中でもオススメなのは春から梅雨にかけて咲くバラだという。花の配置は「自分で見て美しく、綺麗に見える」と思える形にしているそうだ。オープンガーデンの花は冬期以外、こだわり抜かれた季節の花を展示している。

## ③しなの鉄道コース

長野を繋ぐローカル線であるしなの鉄道。現在は黒字経営だが、今後は、沿線人口の減少や車両老朽化などの課題から経営が心配されている。しなの鉄道が行う独自の取り組みを取り組んでいる。しなの鉄道の運行する観光列車の1つが軽井沢駅と長野駅を結ぶ「ろくもん」。現在のの上田市真田町ゆかりの武将「真田一族」の家紋である「一文銭」から命名された列車だ。真田幸村が大阪冬の陣などで用いた「赤備え」をイメージに濃い赤を基本



色とし、家紋がゴールドで配置された豪華な造りとなっている。内装は長野県産の木材を使用し、ぬくもりのある空間を演出していた。上田駅では真っ赤な甲冑を着込んだ上田駅の酒井彦弥駅長が「ろくもん」を出迎える。駅長は乗客と「ろくもん」「真田丸」と掛け声をして写真撮影に応じていた。長野県を感得してもらえようようにと始めたこの取り組みは、乗客を大いに楽しませている。

光客で混雑していた。バス停「善光寺大門」から徒歩5分、迫力ある阿形と呼ばれる左右の支柱に抱える仁王門をくぐる、見えてくるのは仲見世通り。土産屋から名物であるおやきの屋台まで様々なお店で賑わいを見せていた。仲見世の先にある高さ24メートルの山門は、上ると門の上から長野市を一望できる。山門を抜けた先の善光寺本堂は644年に創建された歴史ある建造物で、その歴史的価値から国宝に認定されている。現在の本堂は、江戸時代である1707年に再建されたもの。堂内には数多くの仏像が安

置されていて、見所満載だ。その他にも善光寺には39もの宿坊があることで有名だ。この宿坊は宿泊することも可能で、善光寺の特色ある精進料理や毎朝行われるお朝事を通じて、仏教の世界を体験することができる。

初期からあるもので、廃藩置県後は、昭和51年に国の指定重要文化財に指定されるまで手入れをされていなか



信之の墓前で手を合わせる記者

交流取材を通し、地元の人々や他県の高校生記者と交流を深めることができた。今後の活動に役立てたい。

交流取材を通し、地元の人々や他県の高校生記者と交流を深めることができた。今後の活動に役立てたい。

交流取材を通し、地元の人々や他県の高校生記者と交流を深めることができた。今後の活動に役立てたい。

- ① 仏壇通りと高橋まゆみ人形：飯山
- ② 信州小布施のまちおこし：小布施
- ③ 「ろくもん」と第3セクターの今昔：しなの鉄道
- ④ 善光寺と門前町の魅力：善光寺
- ⑤ 真田氏の城下町：松代

置かれていて、見所満載だ。その他にも善光寺には39もの宿坊があることで有名だ。この宿坊は宿泊することも可能で、善光寺の特色ある精進料理や毎朝行われるお朝事を通じて、仏教の世界を体験することができる。

置かれていて、見所満載だ。その他にも善光寺には39もの宿坊があることで有名だ。この宿坊は宿泊することも可能で、善光寺の特色ある精進料理や毎朝行われるお朝事を通じて、仏教の世界を体験することができる。

置かれていて、見所満載だ。その他にも善光寺には39もの宿坊があることで有名だ。この宿坊は宿泊することも可能で、善光寺の特色ある精進料理や毎朝行われるお朝事を通じて、仏教の世界を体験することができる。

置かれていて、見所満載だ。その他にも善光寺には39もの宿坊があることで有名だ。この宿坊は宿泊することも可能で、善光寺の特色ある精進料理や毎朝行われるお朝事を通じて、仏教の世界を体験することができる。

置かれていて、見所満載だ。その他にも善光寺には39もの宿坊があることで有名だ。この宿坊は宿泊することも可能で、善光寺の特色ある精進料理や毎朝行われるお朝事を通じて、仏教の世界を体験することができる。

## 善光寺の美味しいもん

「長野に来たからには蕎麦を食べたい」という編集委員が到着早々に立ち寄ったのは、善光寺門前に店を構える創業300年の老舗「蕎麦屋 大丸」だ。通りに面した窓ガラス越しには職人が蕎麦を手打ちしている様子を見ることができ。おすすめ商品は「さらしなそば」。一般に更科蕎麦は普通の蕎麦よりも色が白いのが特徴だ。のど越しの良い蕎麦は、ひとくちするとふわりと広がる蕎麦の香りを楽しむことができた。

## さらしなそば

蕎麦は、ひとくちするとふわりと広がる蕎麦の香りを楽しむことができた。

1日目の善光寺参りの途中、長野市善光寺仲見世通りに立ち並びエスプレッソ&ジェラートバー「カフェ・テラ」で一休み。一見こぢんまりしたお店に見えるが、入ってみると座席は20席あり、長椅子が置かれていた。町家を改築した建物はピンクオレンジカラーの壁の色を基調とし、和洋折衷の落ち着いた空間を演出している。信州産の旬の果物がふんだんに使われているジェラートは色鮮やかで目でも楽しめる。どのジェラートも素材を生かしたすっきりとした後味が食べやすい。拘りぬかれた本場さながらのジェラート。信州を訪れた際は是非訪れてほしい。

置かれていて、見所満載だ。その他にも善光寺には39もの宿坊があることで有名だ。この宿坊は宿泊することも可能で、善光寺の特色ある精進料理や毎朝行われるお朝事を通じて、仏教の世界を体験することができる。

置かれていて、見所満載だ。その他にも善光寺には39もの宿坊があることで有名だ。この宿坊は宿泊することも可能で、善光寺の特色ある精進料理や毎朝行われるお朝事を通じて、仏教の世界を体験することができる。

置かれていて、見所満載だ。その他にも善光寺には39もの宿坊があることで有名だ。この宿坊は宿泊することも可能で、善光寺の特色ある精進料理や毎朝行われるお朝事を通じて、仏教の世界を体験することができる。

置かれていて、見所満載だ。その他にも善光寺には39もの宿坊があることで有名だ。この宿坊は宿泊することも可能で、善光寺の特色ある精進料理や毎朝行われるお朝事を通じて、仏教の世界を体験することができる。

## 全国の文化部 来年は佐賀へ

来年度の2019佐賀総文の実行委員長、佐賀県立白石高等学校2年の加藤梨央奈さんに話を聞いた。「チャンスをあつたらつかみたい」という性格から今回実行委員長に立候補したという。さらに1年生のころにあった佐賀総文についての会議が、あまり積極的な雰囲気ではなかったため「私でもいいなら実行委員長やりたい」と思った理由も大きいと語った。

長野県に来るのは今回が初めてだという加藤さんは、この信州総文で長野県の人

置かれていて、見所満載だ。その他にも善光寺には39もの宿坊があることで有名だ。この宿坊は宿泊することも可能で、善光寺の特色ある精進料理や毎朝行われるお朝事を通じて、仏教の世界を体験することができる。

置かれていて、見所満載だ。その他にも善光寺には39もの宿坊があることで有名だ。この宿坊は宿泊することも可能で、善光寺の特色ある精進料理や毎朝行われるお朝事を通じて、仏教の世界を体験することができる。

置かれていて、見所満載だ。その他にも善光寺には39もの宿坊があることで有名だ。この宿坊は宿泊することも可能で、善光寺の特色ある精進料理や毎朝行われるお朝事を通じて、仏教の世界を体験することができる。

置かれていて、見所満載だ。その他にも善光寺には39もの宿坊があることで有名だ。この宿坊は宿泊することも可能で、善光寺の特色ある精進料理や毎朝行われるお朝事を通じて、仏教の世界を体験することができる。

置かれていて、見所満載だ。その他にも善光寺には39もの宿坊があることで有名だ。この宿坊は宿泊することも可能で、善光寺の特色ある精進料理や毎朝行われるお朝事を通じて、仏教の世界を体験することができる。